

講師プロフィール・講師選定理由書

担当会議・委員会名： シンギュラリティ研究委員会
 議長・委員長名： 裕信康
 講師進捗状況： 確定 ・ 未確定 (返事待ち) ・ アポ済 ・ 準備済 ・ 未着手)
 講師選定状況備考：

開催会議・大会名： サマーコンファレンス 2017 THE SINGULARITY IS NEAR セミナー
 ファンクション名：
 日時： 2016年7月22日(土) 15:00～16:00

事業目的： (対内) 国民一人ひとりが、国を良くすることにより自分たちの生活も向上させる民間防衛力の確立へ意識喚起をすることを目的とします。
 (対外) 各地会員会議所会員が地域の先駆者たる自覚の基に国民一人ひとりが、国を良くすることにより自分たちの生活も向上させる民間防衛力の確立へ意識喚起をすることを目的とします。

【講師名】 斎藤元章氏

【事業内の役割】 司会・パネリスト・ファシリテーター・講演・その他【プロフィール】

1986年 新潟大学医学部 入学

1992年 新潟大学医学部 卒業

1997年 TeraRecon, Inc 設立

2010年 株式会社 PEZY Computing 設立

2013年 株式会社プレキシオン設立

2015年 株式会社 ExaScaler 設立



【選定理由】

斎藤氏は、新潟大学医学部を卒業、医局は東京大学医学部附属病院放射線科。そのときに、画像診断用のソフトウェアを開発。医療機器開発の起業で渡米。シリコンバレーで医療機器ベンチャーを設立。プロセッサ開発に特化した会社を日本に設立。理化学研究所・KEK（高エネルギー加速器研究機構）と共同研究契約。2014年11月1日、7カ月で国産スパコンを開発。5～10年の間に「6リットルに世界の人口に相当する73億人の人間の脳に匹敵する集積回路を収める」が目標。まずは、1EXA（エクサ）級の国産次世代スパコン（小型・低消費電力・液浸冷却槽・完全開放型）をスカンクワークスをモデルにしたチームで世界に先駆けて独自開発中、2019年に到達すれば「プレ・シンギュラリティ」が起こす社会大変革が現実になるとしている。又「マッドサイエンティスト」とも呼ばれている。同氏は、2年後プレシンギュラリティの到来を予想しており、今後の社会の変化、その時に我々はどう生きるべきかを講演してもらうには適任であると考え、講師に選定しました。